令和２年度の教育活動等に対する学校評価書

令和３年３月 15 日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長　吉野　友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長　清　信昭

１　幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の５項目を掲げる

１．丈夫な体を持つ子どもに

２．感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに

３．豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに

４．頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに

５．よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

２　本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

３　**自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果

（※評価点は、Ａ（十分に成果があった）・Ｂ（成果があった）・Ｃ（少し成果があった）、Ｄ（成果がなかった）の段階で表すこと。）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	B	週・月・年毎の見直しと反省に基づいて計画を立てており、子どもの様子・必要なことを適確にとらえた指導ができている。	A	・コロナ禍の中適切な対策がとられ、先生方の教育に対する思いが伝わってくる。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	・卒園児の小学校での評判から園がめざしている子どもの姿がイメージできる。 ・話を聞く態度や行事に取り組む姿勢からめざす姿が育っていることが確認できる。	A	・地区で卒園生の姿を見ていると、教育目標が生きていることがわかる。 ・目標からも目指している姿がイメージでき、生きている。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	子ども個々をよく観察し、ほめることで、子どもが自信を持って様々なことに前向きに取り組んでいる。頑張りすぎることもあるので注意が必要。	A	・子どもが帰ると、ほめられたことを自慢気に話す姿から理解できる。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができている。	B	・成長に大切な遊びの時間確保を見直して教育課程を考えている。 ・１つの遊びからの発展や展開がまだ上手にできていない。また子ども同志のトラブルも少なくないので、見守りと助言を効果的に行いたい。	B	・大きなトラブルもなく園生活を楽しんでいる。

・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	A	・毎日の繰り返しの中で無理なくできている。ウイルス対策でより細かい指導ができている。 ・時計を見て行動できつつある。（年長）	A	・先生方の指導・努力があって安全と健康が保たれています。
・全職員が年に 1 回以上公開保育を参観し、研修する。		コロナウイルス感染防止のため中止・変更・縮小が多く適正な評価はできない。		
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。				
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	常に心がけている事であり、健康状態はもちろん心の変化にも注意している。	A	・先生のさりげない声かけはありがたい。
・教員間の協力的な指導ができている。	B	・指導や協力がありありがたい。 ・人手に限りがあり、学年・学級にかたよりが大きい。	B	・かたよりがあるのは工夫・努力が必要。
・保護者の実情や要望による預かり保育ができている。	A	・実情や要望に応じた預かり保育ができている。 ・預かり保育のきまり、基本を定期的に周知していく必要もある。	A	・特に問題はない。
・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	B	・各種たよりは定期的に発行されている。保護者の反応がわからないので不安もある。 ・ホームページは学期に 1 回は更新した方がよい。保護者から聞かれることもあり、幼稚園探しにも利用されている。	B	・予定は充実している。他の情報発信を ・ホームページの更新がされていない。 ・園長だよりは区長会で配布され、園長の報告から大体の様子はわかるが、詳しいことはわからない。 ・ホームページも写真だけでなく説明を加えるとよい。

･季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	B	コロナウイルスの影響で中止・変更・縮小が多い中で、満足にできないものもあったが、これまでの形にとらわれず、できる限りの工夫をして実施した行事は今後の参考になった。	B	・コロナを理由にしている限り明るい未来は見えない。 ・どうすれば今までと遜色なくできるか工夫が大切。